

High technology for our way of life with ICET

理事

代表理事	岩田彰 名古屋工業大学
理事	安田孝美
理事	嶋田普
理事	富永和良
理事	河合保
理事	長澤保雄
理事	渡辺登
理事	河本清孝

年会費および会員の特典

学生会員	1口年間 6,000 円
個人会員	1口年間 8,000 円
法人会員	1口年間 10,000 円

1、本センターは、会員の業績や知的財産を広く告知や紹介しますので、地域や専門に関わらず参加意識の強い団体や個人が存在を知ることができ、問合せや共同研究提案の仲介などに、無料で本センターを活用することが可能です。

2、招聘プログラムや外部からの照会に対し本センターを通じて会員を紹介し、実現に際し相談やコンサルタントを受けることが可能です。

3、本センターが主催或は協賛する講演会やシンポジウムや展示会、交流事業や調査研究事業に無料或は割引にて参加できます。

4、研究会や委員会として固有のプロジェクトを展開することができます。会員が自ら契約主体となれないプロジェクトに関し、本センターを活用することが可能です。

入会申込書

年 月 日

国際技術文化交流センターの趣旨に賛同し、下記の通り入会を申し込みます。

会員種別；

- 1 学生会員 () 口 - 1 口 6,000 円
 - 2 個人年会員 () 口 - 1 口 8,000 円
 - 3 法人年会員 () 口 - 1 口 10,000 円
- 合計 () 円

お名前；

連絡ご担当者（法人会員の場合は必要です）；

住所；

電話番号；

E-mail アドレス；

ホームページアドレス；

連絡欄；

※お申し込みは FAX、郵送、ホームページからお送りください。
この用紙をコピーしてご使用ください。

国際技術文化交流センター事務局

名古屋市中区丸の内 3-19-6

セントラル法律ビル 4 階

電話 052-963-4181 FAX 052-963-4187

<http://www.icet.jp>



High technology for our way of life with ICET

特定非営利活動法人

国際技術文化交流センター

Center for

International Cultural Exchange of Technology

<http://www.icet.jp>

21世紀の情報社会と技術交流

代表理事
岩田 彰



(名古屋工業大学大学院教授)

技術の進化は市民生活を豊かにし、すでに一部では自分の未来は自分の意志で作ることができ個人の国際的な交流や貢献も可能な文化を作っていますが、それらの文化を育てた背景には必ず高度な科学技術の存在があります。

現在、科学技術の開発スピードは加速度を増し膨大な量の技術が発明され複雑多岐な特許として登録されています。すでに「物作りを自分だけでは出来ない時代」となり、特許を購入するに留まらず、発明知財を共することを基礎にした研究者の派遣や共同研究などの連携を通じて、更により高度で普遍的な発明や開発への協調体制作りが望まれる様になりました。

科学技術の開発をテーマにした相互信頼と依存の関係ができれば、国際的な視野を持ち社会に貢献する研究者を育てられます。私達は人や技術の流れを促進する為の機関として役立てられるよう活動を展開します。どうぞご支援くださいますようお願い申し上げます。

■ 事業内容について

国際的な技術と文化交流を促進させることを目的として、研究者や企業の交流を促進するために下記の事業を実施します。

活動の役割、

研究者とは研究をしたいと希望する個人を指し、学部学生や研究職以外でも可能です。

助成には事前審査は必要になりますが、送り出し側や受け入れ先からの要望以外には、特段の資格は必要ありません。

研究成果や業績としての告知や紹介、費用負担制度などを持って広く支援します。

研究者にたいして、

共同研究できる研究者や研究所、大学、企業を探します。

緊急調査や取材を支援します。

企業にたいして、

提携できる研究者や研究所、大学を探します。

企業内研究者派遣や招聘を支援します。

大学にたいして、

共同研究や連携方法の提案、提携先の紹介をします。

インターンシップ、起業化支援を致します。

学生と企業の橋渡しをします。

■ 活動内容について

助成活動

日本とアメリカのOTL情報を一元的網羅的に管理し、技術情報の告知活動を行いながら、政

府、企業、OTL仲介、市民の皆様からお預かりした寄付金を、研究者から出される「支援実施計画書」や「予算書」などを審査し助成を行います。

支援活動

日本での支援はもちろん、提携先であるアメリカへ人を派遣し、調査活動、調整活動、支援活動、広報活動を行ないます。

事務局活動・広報活動

総会や理事会など意思決定に必要な会議の開催、OTL間の情報共有の為に連絡会、NGOと他セクター（企業・メディア・市民・政府）を結ぶ報告会やイベント活動。

海外のNGOやOTLとの連携、意見交換のため国際会議への出席、現場調査など。

ISO23950 情報共有データベースの実証と提供。

■ 活動フレームリスト

アメリカと日本のOTL情報の掌握と管理

（バークレー Z39.50 データベースの開発）

当NGO負担による研究員交流制度の確立

技術交流の為に Web ニュースレターの作成

「スカラズプレス」（ニュースレター）の作成

最新情報の告知

技術情報

招聘情報

交流情報

提携情報

共同研究パートナーの紹介

新技術や特許の取材と紹介

研究者や企業の取材と紹介

研究者派遣プログラム

「研究員派遣プログラム」への募集

「研究員派遣プログラム」受賞者の研究紹介

国内招聘受け入れ組織の紹介

国外招聘受け入れ組織の紹介

国際連携ビジネスのコーディネーターの養成

国際弁護士による調査

ベンチャーキャピタリストの紹介

企業／研究者の紹介や照会（無料）

特許照会（OTL情報以外は有料）

特許申請（国際特許事務所への紹介、有料）

法律相談（顧問弁護士への無料相談、一部有料）

コンサルティング及び支援事業

研究会の開催

研究開発事業

人材育成事業

講演会の開催

政策助言

